

## 令和2年度 第1回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 令和2年10月29日(木) 10時00分～10時45分
2. 場 所 すこやかセンター2階会議室1
3. 出席者 内山雅広委員、斎藤まり子委員、白岩智子委員、大木みわ委員、内藤節子委員、湯浅正江委員、小川晃司委員、宮川朱実委員、吉田幾久子委員、大澤昌宏委員、安留千恵委員、小沼綾子委員、栗原三枝子委員、阿部亜紀委員  
(欠席者) 藤崎輝代委員
4. 傍聴人 0名
5. 議 題
  - (1) 富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
6. その他
  - (1) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用して、行っている富里市の独自事業について

### 7. 会議の経過

事務局：本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻となりましたので、只今より、富里市子ども子育て会議を開催いたします。

会議に先立ちまして、これまで本会議の委員として、ご尽力を賜りました、横山智志江委員が去る7月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

それでは、人事異動などにより今年度から安留委員、栗原委員、阿部委員の3名が新たに就任されましたので、それぞれ御挨拶を頂戴したいと思います。それでは安留委員より順によろしく願いいたします。

#### 【各委員自己紹介】

事務局：今回の会議は、令和2年度第1回目の会議となり担当職員に変更がございますので事務局の職員を紹介させていただきます。

#### 【職員紹介】

それでは改めまして、第1回富里市子ども・子育て会議を開会いたします。

本日、藤崎委員が欠席をされておりますが、富里市子ども・子育て会議条例第6条第2項に規定されておりますとおり、委員の半数以上の出席がございますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。

開会にあたりまして、会長よりご挨拶いただき、その後の議事進行もお願いしたいと思います。宮川会長よろしくお願いいたします。

会 長：皆様おはようございます、本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。コロナ禍で大変な思いをしている、そんな中でいろんなことをやらなければならない。市役所職員を始め、みなさん大変努力されている。日本はすごい国だと思う、皆でがんばっていかなければならないと思います。本日は今年度第 1 回目の会議となります。議題は「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」となります。昨年度第 2 期の計画が策定されました。今回は第 1 期計画の最終年度となります令和元年度の進捗状況について事務局より説明がございますので、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局から説明】

会 長：「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」ご意見ご質問ありますか。

事務局：進捗状況の説明の中であった、こども館子育て支援センターと病児・病後児保育のコロナ禍での利用状況の影響についてお聞かせ願います。

委 員：富里市こども館子育て支援センターのコロナ禍の影響について、2月から5月まで休所し、6月から人数と利用時間に制限をつけて開所しました。開所当時は、感染症の心配と子育て支援センターの存在自体を知らないとのことからかなり利用人数が少なかった。昨年6月から9月と今年6月から9月の利用者数を比べると64%減っている。相談内容としては出産後の子育ての悩み、ストレス等例年より育児相談が増えています。

委 員：病児・病後児保育のコロナ禍での影響について、2月から利用者がほとんどいなくなった状況です。医院長よりその理由として、お子さん自身が感染症にかからなくなったとのこと。病院そのものの患者も少なくなったということです。

また、子供が病気になった従業員に対して仕事を休ませ、家で見てもらい感染症を広げないようにしようという企業の方針もありました。

病児保育の利用者は4月から激減している、9月から少しずつ増えてきたが昨年と比べると減っています。

会 長：浩養学童クラブのコロナ禍での影響について、できる限り家で見て利用を控えるようお願いしましたが、働いている親は仕事に出るため預けにきました。なかには祖父、祖母に預ける人もいました。

学校が再開し、休校中ゲームのやりすぎにより、落ち着きがなくなり言葉づかいが荒くなった子が出てきました。以前、学童に通っていた時は勉強して

わりと落ち着いている子だった。祖父、祖母が預かりゲームをやらせればおとなしくするから、つつい長くやらせてしまっていた。お母さん、学校と話しゲームは時間を決めて、なるべく外で遊ばせて欲しいと伝えました。

低学年では家庭学習がうまくいかず、お勉強が進まない子がいました。休校の影響を特に受けていると感じます。

小さい子がマスクを着けるのは難しく、すぐ外してしまう。だんだん自粛する家庭が少なくなっているため3密を避けるのは難しい状況になってきている。早く良い薬が出来るよう願っています。

委員：七栄小学校について、先生方から自粛期間中ゲームをやっていた子がかなり多かったことを聴いています。ただ言動の問題についての医学的な関係性については、専門家ではないので明言することはできません。たしかに、お子さんはゲームをしているとおとなしいということで、つついやらせてしまうとのことです。

2か月の休校期間と8月の短い夏休み期間を経て、本校の子供たちは学校にいた方が楽しいという話をしてくれています。新しい学校生活にも慣れてきている。学校としては予防体制を守っていく状況、ただ下校時間はどうしても気が緩み密な状態となっていることを感じている。

また、今後の修学旅行等行事を検討していかなければならない。校外学習はPTAと市と相談し中止とした。遠くに行かず遠足にしようとか、6年生は親を巻き込んでレクリエーション大会をやろうとか、コロナ禍の学校体制を模索しながら教育委員会の指導を受けながらやっていきます。

会長：ほか皆さんからご意見よろしいでしょうか。今日の議題が終了いたしましたので、これにて議事を終了し、事務局にお返しします。

事務局：宮川会長ありがとうございます。それでは、「その他」といたしまして、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用して、行っております富里市の独自事業について子育て支援課及び学校教育課からご報告させていただきます。

#### 【事務局から説明】

事務局：その他全体を通しまして、何か皆様からございますか。ないようですので以上をもちまして、令和2年度第1回富里市子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。次回の会議は、現在のところ、12月中の開催を予定しておりますが、日程が決まり次第、あらためて御案内させていただきますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。